

赴任後の指導力育成ルーブリック

教師のアクション	項目の属性	Step1 (採用時-初期研修時)	Step2 (現場派遣初期)	Step3 (現場派遣中期以降)	Step4 (現場派遣中期以降)	Step5 (Good Practice)	教員に求められる姿勢・資質
Set Big Goals	Tactics	Introductory / Metacognition	Observe	Orient	Decide	Realization	
B-1 生徒の人生における機会を劇的に拡大することにつながり、また「基準（日本の場合は学習指導要領）に沿っている」「測定可能である」「野心的かつ実現可能」とあるという条件を満たしたゴールを掲げる	子どもの人生の可能性を最大化するような目標を掲げることが出来ている（測定可能であることが望ましい）	子供がどのような人生の目標を与えられと希望や大志をもち、どのように伝えられると自分ごとのように感じられるか、子どもの立場や気持ちになって、他者に説明することができる	自らが担当するクラスや課外活動において、人生の目標を持ちづらい生徒の立場や気持ちを、他者に説明することができる（状況把握）	自らが担当するクラスや課外活動において、人生の目標を持ちづらい生徒の立場や気持ちの理解をもとに、その課題の特定と取り組むべき方向性を示すことができる（状況判断）	自らが担当するクラスや課外活動において、生徒が希望を持って取り組めるような具体的な目標設定を含む具体的な施策に取り組むことができる（意思決定）	自らが取り組んだ施策を通じて、生徒が希望を持って具体的な目標に取り組んでいる事例を説明することができる（実現）[事例共有]	「想像のスケールが大きい人」 大きな志を有している
Invest Students and Those Who Influence Them in Working Hard to Achieve Big Goals	Tactics	Introductory / Metacognition	Observe	Orient	Decide	Realization	
I-1 「熱心に努力すれば学業達成がかなう"l can"」ことへの合理的な理解を生徒が深められるよう努める。そのために、生徒自身の成長の証左、統計データ、「知性は伸ばせるものである」ということについての明示的な議論、創造性に富んだマーケティング大きなゴールなどを活用する	子どもが"l can"と感ずるために、十分な工夫が出来ている	「やればできる"l can"」と感ずることができない子どもの気持ちや、どのような工夫を施せば「やればできる"l can"」と子どもが感ずられるか、子どもの立場や気持ちになって、他者に説明することができる	自らが担当するクラスや課外活動において、「やればできる"l can"」と感ずられない生徒の立場や気持ちを、他者に説明することができる（状況把握）	自らが担当するクラスや課外活動において、「やればできる"l can"」と感ずられない生徒の立場や気持ちの理解をもとに、その課題の特定と取り組むべき方向性を示すことができる（状況判断）	自らが担当するクラスや課外活動において、生徒が「やればできる"l can"」と感ずられる具体的な施策に取り組むことができる（意思決定）	自らが取り組んだ施策を通じて、生徒が「やればできる"l can"」と実感することができた事例を説明することができる（実現）[事例共有]	「常に前向きな人」 損得感情抜きに大きな志に向けて努力している
I-2 「達成によって恩恵をうけることができる"l want"」ということについて生徒が合理的に理解を深められるよう努める。そのために、日々の授業での学びを生徒自身の人生や夢に結び付け、また統計データ、創造性に富んだマーケティング、大きなゴールなどを活用する	子どもが"l want"と感ずるために、十分な工夫が出来ている	「できるようにになりたい"l want"」と感ずられない子どもの気持ちや、どのような工夫を施せば「できるようにになりたい"l want"」と子どもが感ずられるか、子どもの立場や気持ちになって、他者に説明することができる	自らが担当するクラスや課外活動において、「できるようにになりたい"l want"」と感ずられない生徒の立場や気持ちを、他者に説明することができる（状況把握）	自らが担当するクラスや課外活動において、「できるようにになりたい"l want"」と感ずられない生徒の立場や気持ちの理解をもとに、その課題の特定と取り組むべき方向性を示すことができる（状況判断）	自らが担当するクラスや課外活動において、生徒が「できるようにになりたい"l want"」と感ずられる具体的な施策に取り組むことができる（意思決定）	自らが取り組んだ施策を通じて、生徒が「できるようにになりたい"l want"」と実感することができた事例を説明することができる（実現）[事例共有]	「純粋な欲求に溢れている人」 大志に向けた欲求（やりたいこと、やりたいもの）を有している
I-3 生徒が目標に向かって努力したことで成果を成し遂げ"l can"、学びによる達成に価値を置く"l want"人々と自分とを重ね合わせることができるよう、適切なロールモデルを用いる	子どもが"l can","l want"と感ずるために、ロールモデルを活用出来ている	どのような人に出会うと「やればできる"l can"」「できるようにになりたい"l want"」と感ずられるか、子どもの立場や気持ちになって、他者に説明することができる	自らが担当するクラスや課外活動において、どのようなロールモデルに接すると生徒が「やればできる"l can"」「できるようにになりたい"l want"」と感ずられるか、クラスの状況とともに他者に理解できるように説明することができる（状況把握）	自らが担当するクラスや課外活動において、どのようなロールモデルに接すると生徒が「やればできる"l can"」「できるようにになりたい"l want"」と感ずられるかを把握した上で、最適なロールモデルを選択することができる（状況判断）	自らが担当するクラスや課外活動において、ロールモデルを自らの授業や学内活動に招待し、生徒と接する機会を創出することができる（意思決定）	自らが招待したロールモデルと接することで、生徒が「やればできる"l can"」「できるようにになりたい"l want"」と実感することができた事例を説明することができる（実現）[事例共有]	「誰かに憧れている人」 心から尊敬する人やなりたい人を有している
I-4 勤勉と大きなゴールへの長期的な投資を増やしつつ、大きなゴールに向けた努力を継続的に強化していく。そのために、賞賛、成功した時の人前での承認、外的な報酬、競争、協力、生徒と教師の関係などの手段を用いたり工夫をしたりする	子どもの目標の達成に向けて、賞賛・報酬・競争・関係性などを有効に活用出来ている	モチベーションが下がる時や上がる時の状況を、子どもが感じとる賞賛・報酬や生徒同士の競争・関係性を踏まえながら、子どもの立場や気持ちになって、他者に説明することができる	自らが担当するクラスや課外活動において、生徒が感じている賞賛・報酬や生徒同士の競争・関係性を踏まえ、生徒が現在感じているモチベーションの状態を他者に説明することができる（状況把握）	自らが担当するクラスや課外活動において、生徒が感じている賞賛・報酬や生徒同士の競争・関係性を踏まえた生徒のモチベーション状態の理解をもとに、その課題の特定と取り組むべき方向性を示すことができる（状況判断）	自らが担当するクラスや課外活動において、生徒が感じとる賞賛・報酬や生徒同士の競争・関係性を有効に活用しながら、生徒自身の目標に対するモチベーションを向上させる具体的な施策に取り組むことができる（意思決定）	生徒が感じとる賞賛・報酬や生徒同士の競争・関係性を有効に活用しながら取り組んだ施策を通じて、生徒自身の目標に対するモチベーションを向上させることができた事例を説明することができる（実現）[事例共有]	「努力を楽しんでいる人」 外的な報酬と内的な報酬を上手に使い分け、自らの大志にむけて努力している（内的な報酬に重きを置いている）
I-5 生徒が安心し支援されていると感じつつリスクをとって大きなゴールに向かって努力できるよう、自分が受け入れられていると感ずる環境を作る。そのために、理性的な説得やロールモデル、重要な価値（尊厳、寛容、優しさ、協力）を強化するための戦略を用いる	子どもが安心して挑戦できる環境を作るために、必要な価値基準やロールモデルを提示することが出来ている	子どもが安心して発言できない状況や、どのような状況であれば安心・安全を感じられるか、子どもの立場や気持ちになって、他者に説明することができる	自らが担当するクラスや課外活動において、安心・安全を感じられない生徒の立場や気持ちを、他者に説明することができる（状況把握）	自らが担当するクラスや課外活動において、安心・安全を感じられない生徒の立場や気持ちの理解をもとに、その課題の特定と取り組むべき方向性を示すことができる（状況判断）	自らが担当するクラスや課外活動において、多様な価値基準やロールモデルを提示しながら、生徒が安心・安全を感じられる具体的な施策に取り組むことができる（意思決定）	多様な価値基準やロールモデルを提示しながら取り組んだ施策を通じて、生徒が安心・安全を感じることができた事例を説明することができる（実現）[事例共有]	「雰囲気の良い人」 期待したことができない人や自分とは違う価値観を有している人を受け入れている
I-6 生徒に影響力をもつ人たち（家族、友人、スポーツなどのコーチなど）を尊厳を持って動員し、彼らからも生徒が大きなゴールに向かって努力するよう積極的に働きかけをもらう。そのために、直接的な説明、ロールモデル、自分自身が模範を示すこと、マーケティングなどあらゆる方法を用いる	目標達成のために、子どもに影響力を持つ周りの人に協力をしてもらうことが出来ている	子どもが、先生以外のどのような人から影響を受けるか、子どもの立場や気持ちになって、他者に説明することができる	自らが担当するクラスや課外活動において、生徒同士の交友関係や家族や周囲の大人との関わり合いを、他者に説明することができる（状況把握）	自らが担当するクラスや課外活動において、生徒同士の交友関係や家族や周囲の大人との関わり合いに関する理解をもとに、その課題の特定と取り組むべき方向性を示すことができる（状況判断）	自らが担当するクラスや課外活動において、生徒の友人や周囲の大人の協力を受けて、生徒が有する課題に取り組むことができる（意思決定）	生徒の友人や周囲の大人の協力を通じて、生徒が有する課題に取り組み解決した事例を説明することができる（実現）[事例共有]	「素直にお願いできる人」 自分とは異なる能力を有する人や、自分より優れた人を尊重し、協力を仰いでいる

Plan Purposefully	Strategy	Introductory / Literacy	Analysis	Design	Develop	Implement	
P-1 大きなゴールに対して生徒が現在どの位置にいるかを把握するため、スタンダード（学習指導要領）に沿った診断や、形成的・総括的評価をトラッキングや評点方式を用いて設計する。	すべての子どもの学力のトラッキングをして目標に対する現在地が把握出来ている。	学習目標に照らし合わせた学力の評価方法について、他者に説明することができる （基礎的理解）[初期研修時]	自らが担当するクラスにおいて、成績評価基準に基づき、生徒の学力を評価結果を導くことができる （分析）	自らが担当するクラスにおいて、評価結果をもとに生徒に対する診断方法や評価方法を設計することができる （設計）	自らが担当するクラスにおいて、設計した診断方法や評価方法をともに診断項目シートや評価項目・評価シートなどを作成することができる （開発）[事例共有]	自らが担当するクラスにおいて、開発した診断項目シートや評価項目・評価シートなどを導入し、運用することができる （実現）[事例共有]	「いい所も悪い所も含めて、自分のことをよくわかっている人」 目標に対して明確な自己管理能力を有している
P-2 長期的な目標を個別の目標に分解していき、それらを1年を通じてマッピングすることを通じて「逆向き設計」を行う	長期的な目標を細分化して、逆向き設計することが出来ている	子供たちの「～することができる」という学習目標から授業計画・設計を行う「逆向き設計」について、他者に説明することができる （基礎的理解）[初期研修時]	自らが担当するクラスにおいて、生徒の学力の現状と学習指導要領をもとに、年間の学習目標を設定することができる （分析）	自らが担当するクラスにおいて、年間の学習目標をもとに授業計画を設計することができる（逆向き設計を行うことができる） （設計）	自らが担当するクラスにおいて、自らが設計した学習目標にもとづいて設計した授業計画の実施に必要な学習教材を独自に作成することができる （開発）[事例共有]	自らが担当するクラスにおいて、開発した独自の学習教材を導入し、運用することができる （実現）[事例共有]	「一本筋が通っている人」 大志や目標に向けて、やっていること、やろうとしていることの道筋が立っている
P-3 授業での課題やタスクを成し遂げた生徒が目標に到達し、大きなゴールに向かって進捗できるように、綿密で目標駆動型の授業計画を立てる	授業の最後には「生徒が～～することができる」という明確な目標を設定し、その目標に基づいた授業デザイン"Objective-driven lesson"を設計し、実行することが出来ている	Objective-driven lessonについて、他者に説明することができる （基礎的理解）[初期研修時]	自らが担当するクラスにおいて、自らが設計した年間の学習目標と生徒の学力の現状をもとに単体の授業の学習目標を設定することができる （分析）	自らが担当するクラスにおいて、Objective-driven lessonを設計することができる （設計）	自らが担当するクラスにおいて、自らが設計したObjective-driven lessonで用いる学習目標を生徒にわかりやすい、シンプルな言葉で表現することができる （開発）[事例共有]	自らが担当するクラスにおいて、自らが設計したObjective-driven lessonを導入し、運用することができる （実現）[事例共有]	「考えに無駄のない人」 常に目標に立ち戻り、計画している
P-4 すべての生徒が意欲的に取り組み、またチャレンジできるよう、個別のニーズと成績データに基づいて指導計画を個別化する	子どもに対して適切な個別の指導計画を持つことが出来ている	指導計画の個別化の事例について、他者に説明することができる （基礎的理解）[初期研修時]	自らが担当するクラスにおいて、個々の生徒の特徴（得意・不得意分野、学習意欲、学習以外の興味関心、言語力など）を説明することができる （分析）	自らが担当するクラスにおいて、自らがまとめた個々の生徒の特徴をもとに、生徒個別の指導計画を設計することができる （設計）	自らが担当するクラスにおいて、自らが設計した生徒個別の指導計画の実施に必要な教材や資料を独自に作成することができる （開発）[事例共有]	自らが担当するクラスにおいて、開発した独自の生徒個別指導教材や資料を導入し、運用することができる （実現）[事例共有]	「楽しいものが好きな人」 常にワクワク感に溢れている
P-5 年齢に適した長期的、そして短期的な行動管理計画（ルールとそれが破られた時の罰則）を確立する。その際、もし生徒がそれを守った場合には、指導時間の量と価値が最大限になるようなルールとなっていることに注意を払う	授業時間を最大化するために、成熟度に合ったルールを設計出来ている	クラス内における効果的なルール設定と避けるべきルール設定について、他者に説明することができる （基礎的理解）[初期研修時]	自らが担当するクラスにおいて、生徒がこれまでどのようなルール設定を受けてきたか、学校全体にどのようなルールが存在するか、などを説明することができる （分析）	自らが担当するクラスにおいて、これまで生徒が触れてきたルールに関する理解と生徒の成熟度をもとに、クラスルールを設計することができる （設計）	自らが担当するクラスにおいて、自らが設計したクラスルールを前向きでシンプルな言葉を用いて表現することができる （開発）[事例共有]	自らが担当するクラスにおいて、自らが設計したクラスルールを導入し、運用することができる （実現）[事例共有]	「立派な大人、マナーの行き届いた人」 丁寧に整理整頓が行き届いている
P-6 教室における各種手順（移動、プリントの配布や収集、出欠確認等）を効果的・効率的にデザインし、その結果、生徒が整った仕組みの中で学校生活を送ることができ、指導時間の量と価値が最大化されるようにする。	スムーズに学級活動・授業進行ができるような仕組みが用意されている	スムーズに学級活動・授業進行ができるような仕組みの事例について、他者に説明することができる （基礎的理解）[初期研修時]	自らが担当するクラスにおいて、スムーズな学級運営・授業進行に必要な情報（授業態度、宿題への取り組み姿勢、交友関係、忘れ物の傾向など）をまとめ、説明することができる （分析）	自らが担当するクラスにおいて、スムーズな学級運営・授業進行に必要な情報をもとに、非効率な授業進行を想定した上で、それに対応した仕組み・手順を設計することができる （設計）	自らが担当するクラスにおいて、非効率な授業進行に対応した仕組み・手順に必要な資料やツールを作成することができる （開発）[事例共有]	自らが担当するクラスにおいて、自らが設計した非効率な授業進行に対応した仕組み・手順を導入し、運用することができる （実現）[事例共有]	「清潔で、きちんとしている人」 整理整頓がきちんとなされている
Execute Effectively	Tactics / Strategy	Introductory / Metacognition / Literacy	Observe	Orient	Decide	Realization	
E-1 学習内容を明確に（必要に応じ複数の異なるアプローチで）説明・提示し、生徒が重要な情報・概念を理解できるようにする	子どもの学びを確実にするために、学習内容をわかりやすく説明・提示できている	子どもが、どのような説明をわかりやすいと感じ、どのような説明をわかりにくいと感じるか、子どもの立場や気持ちになって、他者に説明することができる	自らが担当するクラスや課外活動において、これまで生徒に説明したもののなかで、どのような説明が生徒にとってわかりやすく、またわかりにくかったか、他者に説明することができる （状況把握）	自らが担当するクラスや課外活動において、生徒に行った説明の事例をもとに、自らの説明の問題点と取り組むべき方向性を示すことができる （状況判断）	自らが担当するクラスや課外活動において、学習内容をわかりやすく説明するための工夫を施すことができる （意思決定）	学習内容をわかりやすく説明するための工夫を施すことで、生徒の理解度が著しく向上した事例を説明することができる （実現）[事例共有]	「話がわかりやすい人」 説明の構成が明確で、聞き手に対してわかりやすく物事を伝えている
E-2 すべての生徒が学びのプロセスに参加し、目的を達成する機会を得られるよう、生徒の学習を促進・管理・コーディネートする（必要に応じ複数の異なるアプローチで）	すべての子どもが学習についていけるよう、子どもの学習を促進・管理・コーディネートすることができている	子どもが、どのような指示や指導をわかりやすいと感じ、どのような指示や指導をわかりにくいと感じるか、子どもの立場や気持ちになって、他者に説明することができる	自らが担当するクラスや課外活動において、これまで生徒に指示や指導したもののなかで、どのような指示や指導が生徒にとってわかりやすく、またわかりにくかったか、他者に説明することができる （状況把握）	自らが担当するクラスや課外活動において、生徒に行った指示や指導の事例をもとに、自らの指示や指導の問題点と取り組むべき方向性を示すことができる （状況判断）	自らが担当するクラスや課外活動において、生徒への指示・指導をわかりやすくするための工夫を施すことができる （意思決定）	生徒への指示・指導をわかりやすくするための工夫を施すことで、生徒の姿勢・態度が著しく変容・向上した事例を説明することができる （実現）[事例共有]	「話にインパクトのある人」 選ぶ言葉が適切で、かつポイントを押さえてわかりやすく伝えている
E-3 生徒の学びを確かなものとするために、発問・傾聴・観察・フィードバックができていく	子どもの学びを確実にするために、適切な発問・傾聴・観察・フィードバックができていく	子どもが、どのような質問やフィードバックをわかりやすいと感じ、どのような質問やフィードバックをわかりにくいと感じるか、子どもの立場や気持ちになって、他者に説明することができる	自らが担当するクラスや課外活動において、これまで生徒に行った質問やフィードバックの中で、どのような質問やフィードバックが生徒にとってわかりやすく、またわかりにくかったか、他者に説明することができる （状況把握）	自らが担当するクラスや課外活動において、生徒に行った質問やフィードバックの事例をもとに、自らの質問やフィードバックの問題点と取り組むべき方向性を示すことができる （状況判断）	自らが担当するクラスや課外活動において、生徒への質問やフィードバックをわかりやすくするための工夫を施すことができる （意思決定）	生徒への質問やフィードバックをわかりやすくするための工夫を施すことで、生徒の反応が著しく変容・向上した事例を説明することができる （実現）[事例共有]	「楽しんで話を聞いている人」 自分が話すことより、相手の話を聞き出すための質問を重視し、相手の話をよく聞いている
E-4 行動への高い期待を伝え、生徒が勤勉に集中できるようにする。そのためにルールならびにそれを生徒が守った時・破った時にどうなるかをきちんと決めておき、実行する。	子どもに行動・ふるまいに関わる高い期待を伝え、勤勉に集中できるようにする。そのために必要なルールを決めて、それを実行することができている	クラス内における効果的な期待値の設定方法について、他者に説明することができる （基礎的理解）[初期研修時]	自らが担当するクラスにおいて、個々の生徒が一般的な社会ルール（感謝や謝罪、ゴミはゴミ箱にや使ったら片付けるなど）を身につけているか、説明することができる （分析）	自らが担当するクラスにおいて、個々の生徒が身につけている一般的な社会ルールの理解をもとに、生徒への期待値を設定し、クラスに導入する方法を設計することができる （設計）	自らが担当するクラスにおいて、設定した生徒への期待値をクラスに導入するために必要な資料やツールを作成することができる （開発）[事例共有]	生徒への期待値を設定し、クラスに導入することで、生徒の姿勢・態度が著しく変容・向上した事例を説明することができる （実現）[事例共有]	「ぶれない人」 自身の行動規範や信念を有し、その規範や信念に従って行動している
E-5 学習に費やす時間を最大化するために時間を節約する手順（移動時間の最小化やプリントの配布・回収手順の効率化など）を実行する	学習に費やす時間を最大化するために効率化ができていく	学習に費やす時間を最大化するためにできることについて、他者に説明することができる （基礎的理解）[初期研修時]	自らが担当するクラスにおいて、どのような作業や手順が非効率的か、説明することができる （分析）	自らが担当するクラスにおいて、非効率的な作業や手順の理解をもとに、生徒を巻き込んだ効率的な作業や手順を設計することができる （設計）	自らが担当するクラスにおいて、自らが設計した効率的な作業や手順をクラスに導入するために必要な資料やツールを作成することができる （開発）[事例共有]	効率的な作業や手順を設計し、クラスに導入することで、クラス運営効率が高くなり著しく変容・向上した事例を説明することができる （実現）[事例共有]	「行動に無駄のない人」 常に意味・価値に立ち戻り、計画している
E-6 生徒のパフォーマンスを評価・追跡し、教師と生徒が共に生徒の学業・行動面での進捗や目標達成に向けた時間・リソースの注力状況を常に意識できる状態をつくる	学業・行動面での目標達成のために、適切な時間・リソースの配分がされている状態をつくっている。（子ども・教師共に）	学業・行動面での目標達成のために、生徒への適切な評価と学習支援を施す方法について、他者に説明することができる （基礎的理解）[初期研修時]	自らが担当するクラスにおいて、現在の生徒への評価や学習支援における課題や改善点に関して説明することができる （分析）	自らが担当するクラスにおいて、生徒への評価や学習支援における課題や改善点に関する理解をもとに、新たな評価方法や学習支援を設計することができる （設計）	自らが担当するクラスにおいて、自らが設計した評価方法や学習支援をクラスに導入するために必要な資料やツールを作成することができる （開発）[事例共有]	新たな評価方法や学習支援を設計し、クラスに導入することで、生徒の目標に対する姿勢や目標達成度が著しく変容・向上した事例を説明することができる （実現）[事例共有]	「場の雰囲気を読める人、TPOをわきまえている人」 的確に状況を判断し、行動している

Continuously increase effectiveness	Tacktics	Introductory / Metacognition	Observe	Orient	Decide	Realization	
C-1 評価データを分析することで、生徒の進歩を測定し、到達度や大きなゴールとギャップを正確に把握する	子どもの学習面における進歩状況を把握し、到達度や大きなゴールとギャップを正確に把握することが出来ている	自分自身の目標に対する到達度や目標と現状のギャップを、特に現状において足りていないことについて、他者に説明することができる	自らが担当するクラスや課外活動において、生徒の到達度やゴールと現状のギャップについて、自分自身が理解していないことを、他者に説明することができる (状況把握)	自らが担当するクラスや課外活動において、生徒の到達度やゴールと現状のギャップを理解していない理由と取り組むべき方向性を示すことができる (状況判断)	自らが担当するクラスや課外活動において、生徒の到達度やゴールと現状のギャップを理解するための工夫を施すことができる (意思決定)	生徒の到達度やゴールと現状のギャップを理解するための工夫を施すことで、生徒の姿勢・態度が著しく変容・向上した事例を説明することができる (実現) [事例共有]	「足らずを知る人、現状で満足しない人」 不足を正確に認識している
C-2 生徒の進捗や、大きなゴールと現在の学力のギャップ縮小において、最も影響を与えうる生徒の習慣・行動が何であるかを見極める	子どもの成長において、最も影響を与えうる子どもの習慣・行動が何かを見極めることが出来ている	子どもが、どのような習慣や行動が成長を促進し、また妨げるか、子どもの立場や気持ちになって、他者に説明することができる	自らが担当するクラスや課外活動において、どのような習慣や行動が成長を促進し、また妨げているか、他者に説明することができる (状況把握)	自らが担当するクラスや課外活動において、成長を妨げている生徒の習慣や行動の事例をもとに、自らの生徒への接し方の問題点と取り組むべき方向性を示すことができる (状況判断)	自らが担当するクラスや課外活動において、成長を妨げている生徒の習慣や行動を変えるために、自らの生徒への接し方に工夫を施すことができる (意思決定)	成長を妨げている生徒の習慣や行動を変えるために、自らの生徒への接し方に工夫を施すことで、生徒の習慣や行動が著しく変容・向上した事例を説明することができる (実現) [事例共有]	「だって人間だもの、と感じられる人(みつを)」 目の前にある現象に対して、複数ある発生要因を追求している
C-3 教師自身のパフォーマンスについてのデータ収集と内省を通じ、生徒の学習成果の重要な側面にもっとも貢献する教師の行動が何であるかを熟慮する	教師自身の内省を通じ、子どもの成長にもっとも貢献する行動が何であるかを把握することが出来ている	子どもが、教師の行動や言動・ふるまいをどのように見ているか、子どもの立場や気持ちになって、他者に説明することができる (メタ化) [採用時?]	自らが担当するクラスや課外活動において、どのような自身の行動や言動・ふるまいが生徒に良い影響を与え、また良くない影響を与えるか、他者に説明することができる (状況把握)	自らが担当するクラスや課外活動において、生徒に良くない影響を与えている自身の行動や言動・ふるまいの事例をもとに、自らの生徒へ行動や言動・ふるまいの問題点と取り組むべき方向性を示すことができる (状況判断)	自らが担当するクラスや課外活動において、生徒に良くない影響を与えている自身の行動や言動・ふるまいを生かすために、自らの生徒への行動や言動・ふるまいに工夫を施すことができる (意思決定)	生徒に良くない影響を与えている自身の行動や言動・ふるまいを生かすために、自らの生徒への行動や言動・ふるまいに工夫を施すことで、生徒の習慣や行動が著しく変容・向上した事例を説明することができる (実現) [事例共有]	「人に興味がある人」 教員としての良いところ、悪い所を自身と他者から学び、生徒から見た素晴らしい教師像を有している
C-4 教師としての行動の根本的な要素(知識・スキル・マインドセットに関わる)を見極める	教師としての行動の根本的な要素(知識・スキル・マインドセットに関わる)を見極めることが出来ている	自分自身が想像する教師像に対して、現状において足りていない知識・スキル・マインドセットについて、他者に説明することができる	自らが担当するクラスや課外活動において、どのような自身の知識・スキル・マインドセットに課題や改善点があるのか、他者に説明することができる (状況把握)	自らが担当するクラスや課外活動において、教師としての知識・スキル・マインドセットの課題の自己認識をもとに、自らの教師としての知識・スキル・マインドセットの課題の根本要因と取り組むべき方向性を示すことができる (状況判断)	自らが担当するクラスや課外活動において、自ら課題であると認識している教師としての知識・スキル・マインドセットを変えるために、自らの行動や取り組みに工夫を施すことができる (意思決定)	自ら課題であると認識している教師としての知識・スキル・マインドセットを変えるために、自らの行動や取り組みに工夫を施すことで、自分自身の教師としての姿勢や態度が著しく変容・向上した事例を説明することができる (実現) [事例共有]	「いいと思っただけでやっちゃう人」 自己の成長に興味があり、明確な根拠と具体的な行動を伴って、成長している
C-5 教師の向上を導くために役立つ学びの機会についてどんなものがあるかを理解し、アクセスできる	教師力の向上のための学びの機会を活かす事が出来ている	自分自身が想像する教師像に対して、現状において足りていない教師としての資質・能力について、他者に説明することができる	自らが担当するクラスや課外活動において、どのような自身の教師としての資質・能力に課題や改善点があるのか、他者に説明することができる (状況把握)	自らが担当するクラスや課外活動において、教師としての資質・能力の課題の自己認識をもとに、自らが取り組むべき学習内容とその方向性を示すことができる (状況判断)	自らが担当するクラスや課外活動において、自ら課題であると認識している教師としての資質・能力を形成するために、自己学習や研修を受けるなど工夫を施すことができる (意思決定)	自ら課題であると認識している教師としての資質・能力を変えるために、自己学習や研修を受けるなど工夫を施すことで、自分自身の教師としての資質・能力が著しく変容・向上した事例を説明することができる (実現) [事例共有]	「好奇心おう盛な人」 自身の成長のために継続的に学習している
C-6 データ収集・内省・学びのサイクルを経て、道筋(大きなゴール、投資戦略、計画立案、遂行、自分のエネルギー抽出)を柔軟に調整し、効果を最大化する	データ分析や内省を通して戦略計画やゴールを柔軟に調整して成果を最大化する事が出来ている	自分自身の目標設定や修正、また目標に対する筋道(戦略・計画)の立て方における、自分自身の意向や特徴について、他者に説明することができる	自らが担当するクラスや課外活動において、現在設定している目標や達成するための筋道(計画・戦略)に関わる課題や改善点を他者に説明することができる (状況把握)	自らが担当するクラスや課外活動において、現在設定している目標や達成するための筋道(計画・戦略)に関わる課題の理解をもとに、自らが取り組むべきポイントとその方向性を示すことができる (状況判断)	自らが担当するクラスや課外活動において、自ら課題であると認識している現在の目標や達成するための筋道(計画・戦略)を変えるために、データや過去の経験を活用し工夫を施すことができる (意思決定)	自ら課題であると認識している現在の目標や達成するための筋道(計画・戦略)を変えるために、データや過去の経験を活用し工夫を施すことで、クラス全体の学習成果が著しく変容・向上した事例を説明することができる (実現) [事例共有]	「たくさん引き出しがある人」 いくつかのオプションを提示し、その中で最適なものを選んでいる
Work Relentlessly	Tacktics / Strategy	Introductory / Metacognition / Literacy	Observe	Orient	Decide	Realization	
W-1 大きなチャレンジに直面したときにもやりぬくことができる。究極的な目標に向けて努力し、生徒の達成にインパクトを与える目標に関連するチャレンジに集中して課題を解決していく	究極的な目標のために、大きなチャレンジに直面したときにもやり抜くことが出来ている	自分自身が大きなチャレンジに直面した際に、どのように取り組んだのか、他者に説明することができる	自らが担当するクラスや課外活動において、クラス全体や生徒が抱えるチャレンジを、他者に説明することができる (状況把握)	自らが担当するクラスや課外活動において、クラス全体や生徒が抱えるチャレンジに対して、自らが取り組むべきポイントとその方向性を示すことができる (状況判断)	自らが担当するクラスや課外活動において、自らが捉えているクラス全体や生徒が抱えるチャレンジに取り組むために、時間と努力を優先的に費やし、工夫を施すことができる (意思決定)	自らが捉えているクラス全体や生徒が抱えるチャレンジに取り組むために、時間と努力を優先的に費やし、工夫を施すことで、クラス全体や生徒の学習成果や姿勢・態度が著しく変容・向上した事例を説明することができる (実現) [事例共有]	「チャレンジしている人」 常に困難に挑戦している
W-2 生徒の学習の機会を増やすために、指導の時間やリソースを確保・拡大する	子どもの学習の機会を増やすために必要なリソースを確保・活用出来ている	子供の学力向上に対して制約となる時間やリソースについて、他者に説明することができる (基礎的理解) [初期研修時]	自らが担当するクラスにおいて、生徒の学力向上に対して制約となる時間やリソースに関して説明することができる (分析)	自らが担当するクラスにおいて、生徒の学力向上に対して制約となる時間やリソースを確保する方法やリソースを拡大する方法を設計することができる (設計)	自らが担当するクラスにおいて、自らが設計した時間やリソースを確保する方法やリソースを拡大する方法をクラス運営に導入するために必要な資料やツールを作成することができる (開発) [事例共有]	リソースを確保する方法やリソースを拡大する方法を設計し、クラス運営に導入することで、生徒の学習に対する取り組み内容や時間の使い方が著しく変容・向上した事例を説明することができる (実現) [事例共有]	「余裕のある人」 常に余裕と余幅を持っている
W-3 様々な戦略を用いて、意欲的で大きなゴールを達成するために必要な強いエネルギーを維持する	意欲的で大きなゴールを達成するために必要な強いエネルギーを維持出来ている	自分自身が大きな目標やチャレンジに直面した際に感じるモチベーションを、他者に説明することができる	自らが担当するクラスや課外活動において、どんなときに高いモチベーションを感じ、どんな時にモチベーションが下がるか、他者に説明することができる (状況把握)	自らが担当するクラスや課外活動において、自らのモチベーションが下がるような状況で、自らが取り組むべきポイントとその方向性を示すことができる (状況判断)	自らが担当するクラスや課外活動において、自らが捉えているモチベーションの低下に対して、工夫を施すことができる (意思決定)	自らが捉えているモチベーション課題に取り組むために、工夫を施すことで、教師としてモチベーションが著しく変容・向上した事例を説明することができる (実現) [事例共有]	「常に元気な人、明るい人」 常に自分自身のエネルギー自己管理ができています